

ニュース

小さな卵発見！

保育園で飼っている

きんかちょうが次々と

10個も卵を産んだよ！

孵化するのでしょうか？見守ります！

アンケートより！！（抜粋）

『アートな生活とあそび展』より

- ◆コロナ禍の中、二部制は密にならず良かったです。
- ◆一部の時間が入れ替えの時間もあり、1時間15分は、あっという間で、回れないところもあり残念でした。
- ◆先生方が園での様子やあそびの過程を話していただきながらだったので、普段の様子も分かり、廃材を使つてのあそび方も学ぶことができました。
- ◆さくらんぼ会🍎厚生部さんの企画された、“おかしすくい”は、すくう道具がいろいろあり、年齢によりすくい方も様々で、面白い企画でした。子ども達がジュースを飲むコーナーもあり、暑かったので喜んでいました。

『乳児保育参観・親子触れ合い遊びの会』より

- ◆実際に当日園内を巡ってみて、子ども達の未知なる成長への可能性を広げていくため、安心、安全をモットーにした、個々に応じた生活環境への様々な配慮や支援体制が、日々取り組まれていることが分かりました。保護者や担任の先生とも交流できて良かったです。（0歳児）
- ◆同世代の子ども達がいる保護者が、どうやって子どもと接しているのかを観ることができ、学ぶことが多かったです。（1歳児）
- ◆運動会ごっこを通して名前のでてくるお友達と、どのように遊んでいるかということが分かり、しっかり話を伝えようとしていることが、あらためて知ることができました。（2歳児）
- ◆阿部玲子先生の親子触れ合いあそびの会では、“自分で自然にしている動作”が、身体作りに繋がっていることが分かって、興味深かったです。小さくて危ないと先手に周りがちですが、命の危険がないのであれば、0歳児でも本能のまま行動させて見守ってみるのも、しなやかな身体を作るための第一歩だとか、家にある全ての物や親の身体そのものが、あそびの道具になることに気付くことができました。



令和3年 12月の保育園だより



坂みみょう保育園

『見えないものを想像する力』

～保小の接続を考える交流授業を通して～

今年度もコロナと共生しながら、子ども達にとっても、保護者の皆様にとっても、職員にとっても楽しい保育を目指し、保育園でできることは何だろうと考え、異年齢交流はもちろんのこと、行事なども形を変えながらではありますが、保護者の皆様と子ども達の成長を確かめ合う場として、大切にしたいと考えてまいりました。

感染拡大を避けるためには、制約がいろいろとありますので、保護者の皆様のご理解とご協力の下、職員も知恵を出し合い、チームとして想像力を磨き、創意工夫と状況判断をしながら、保育の質の向上のために、常に問いかけをしつつ実践しているところです。

先月は『アートな生活とあそび展』や『乳児の保育参観・親子触れ合い遊びの会』などを実施したアンケート（左記のアンケート結果参照）からも、親子で楽しんでいた様子がかうかがえましたが、子ども達やご家族の笑顔いっぱい姿を拝見したり、あそびを共有しつつ親子の対話を耳にしながら、この笑顔を消してはならないと強く感じたところです。

11月12日に、坂町幼保小連携協議会の中で、坂小学校において一年生と年長ふじ組さんの生活科の公開交流授業が開催されました。広島県教育委員会乳幼児教育支援センターの指導主事や教育アドバイザーが来校され、坂町内の学校関係職員を始めとして、教育委員会・民生課職員、こども園・保育園の職員も参観しました。

我が園からは松山主任がゲストティーチャーとして、授業環境のお手伝いをさせていただき、保小のスムーズな接続について学び合う機会にもなったと感じています。

『坂の秋 みんなでたのしくあそんじゃお！～ぼく、わたしは〇〇マイスター～』という単元名で、育てたい資質、能力として、「チャレンジする力（挑戦・粘り強さ・解決力）」「表現する力（自分の考えを持ち伝えることができる）」「協力・貢献する力（役割・感謝・行動力）」など、一年生側の

評価の観点がありました。

秋の自然物や廃材を利用して、一年生は継続的に授業の中で学んできたことが形となっており、『どんぐりごま』『まといれ』『つり』『がっき』『ころがしめいろ』『あきのにんぎょう』『つえ』『かざりけんだま』などのコーナーがあり、その特徴を年長児に分かるようにと説明（表現）をしてくれました。

年長さんは、何日も前から学校に行くのを楽しみしておりましたので、真剣な表情で一年生の説明に聞き入っていました。お互いが相手のことを思い浮かべながら関わることがねらいの一つでもありましたので、この段階で集中して取り組む姿が想像できました。

どんぐりごまが回せなかったり、さかなつりの糸が絡まったりなど、上手くいかないこともたくさんありましたが、その都度一年生は、どうやって遊ぶのかを身振り手ぶりも交えながら、相手に分かるように説明をしようとするので、年長さんも粘り強く挑戦する姿がありました。

また、一年生は自分の所属するコーナーが閑散としていると、プラカードを持って呼びかけたり（勧誘）する姿も見られ、その場に応じた対話力が発揮されていました。

しだいに年長さん達は、「自分達も作りたい！（意欲）」という気持ちにもなり、新たな挑戦が始まった場面もたくさんあり、自然体で教え合う、学び合う姿をたくさん見ることができました。交流授業の中で、何を学ぶのかと言えば、目に見えないことがたくさんあるということに、気付くために学ぶ（感謝の心）のかもしれない。

地球上には目には見えないことがたくさんあります。自然界のこと、昔のこと、遠い国のこと、ずっと先のこと、コロナの今後……。目には見えないことを想像するといいますが、想像することは人間に与えられた素晴らしい能力です。

その能力を伸ばすには0歳からの親子の関係の中でしっかりかわいがられ、子ども達の思いが想像でき、受け止めてくれるご家族がいることが大切です。その基盤があってこそ、保育園（集団）の中でお友だちも自分も大切だと思えるような、想像力が豊かな子に成長するのだと思うのです。（園長 倉本弘子）

『幼児生活発表会』

幼児クラスでは、子ども達の興味関心をもっている表現あそびを「生活発表会」という形で参観をしていただきます。

コロナ感染症の発症数が減少をしておりますが、感染拡大予防に最善の注意を払いながら、昨年度同様、クラスごとの入れ替え制に致します。（マスク着用・手指消毒・検温）

なお、同居の健康観察をしていただいているご家族は（保護者、きょうだい、同居の祖父母）、ご来園いただけるようにし、子ども達の成長をご家族で確認し合える場になればと思っています。

コロナ感染症、インフルエンザなどの感染状況に変化がある場合は、人数制限を事前にお知らせすることもありますので、ご理解、ご協力をお願い致します。

つきましては、下記の事項についてご確認をお願い致します。

日時：12月11日（土）

場所：坂みみょう保育園2Fホール

- | | |
|----------------|------------|
| ①午前9時～9時30分 | 年少・ちゅうりっぷ組 |
| ②9時40分～10時10分 | 年少・れんげ組 |
| ③10時20分～11時 | 年中・すみれ組 |
| ④11時10分～11時50分 | 年中・ばら組 |
| ⑤12時～12時40分 | 年長・ふじ組 |

※それぞれのクラスは10分間の休憩の時間で入れ替えをいたします。

※在園のきょうだいの保育希望の方は、担任までお知らせください。各クラスのプログラム終了まで保育をいたしますので、在園児については、ホールへは入りません。

※詳しい事は、11/26に配布しております。生活発表会について（お願い）を再度ご確認ください。特に集合時間、集合場所（部屋）については厳守してください。

※『生活発表会のしおり（プログラム）』は、12/9（木）に持ち帰らせますので、ご確認ください。

※全体練習を12/7（火）に致しますので、幼児クラスは午前8時半までに登園させてください。当日と同じ服装でお願い致します。

保護者会さくらんぼ会🍎と共催の行事について

もちつき会12/17（金）

昨年度と同様、地域の方のご指導の下、子ども達と職員で楽しみたいと思います。地域の方々や役員さんのお手伝いは今年もありません。今年は自分で丸めた餅を持ち帰る予定にもしております。

